



『Introduction to Violence』 © Mariène Gélinau-Payette

セゾン・アーティスト・イン・レジデンス ヴィジティング・フェローによるアーティスト・トーク

## マリー・ブラッサール (カナダ) 新作『Violence』について

- 演出家、マリー・ブラッサール、国際共同制作メンバーとオンライン・クリエイションについて語る -

2020年11月15日(日) 20:00-21:30 / オンライン配信 / 参加無料(要申込)

登壇者: マリー・ブラッサール(作家、演出家、俳優)、アレクサンダー・マックスウィーン(作曲家)、奥野美和(ダンサー、振付家)、竹中香子(俳優)、長谷川億名(映画監督、ドラマトウルク)

セゾン文化財団では、カナダ・モントリオールを拠点に活動する演出家、俳優のマリー・ブラッサールの新作、『Violence』のオンライン・クリエイションを支援しています。2019年にモントリオールで上演された『Introduction to Violence』をベースにした同作品では、振付家として奥野美和、俳優として竹中香子、ドラマトウルクとして長谷川億名が参加し、カナダ・モントリオールと東京の森下スタジオ、さらにフランスやブラジル、フィンランドのメンバーをオンラインでつなぎ、クリエイションを行っています。

アーティスト・トークでは、子どもの何気ない言葉から想像力について考え、しばしば目に見えないかたちで私たちに迫る狡猾な暴力を題材に取り上げた『Introduction to Violence』、そして、新作『Violence』の構想とともに、オンラインでのクリエイションのプロセスや今後の展開についてお話しいただく予定です。

■ 申込方法: 2020年11月15日(日)午後1時まで Email でお申し込みください。 Email: [residency@saison.or.jp](mailto:residency@saison.or.jp)

\* 件名を、「11月15日トーク申込み」とし、本文に ①お名前②職業③連絡先(携帯電話等)④このイベントをどのようにお知りになったかをご記入ください。メール確認後、オンライン配信用のURLをお送りいたします。(定員100名予定)



© Minelly Kamemura

### マリー・ブラッサール Marie Brassard

作家、演出家、俳優。2001年、デビュー作『ジミー』を現在のフェスティバル・トランスアメリックであるアメリック演劇祭で発表。その作品の成功がきっかけとなり、自身のプロダクション“*Infrarouge*”を創設して、本格的に単独名義の活動を始める。多様なジャンルのアーティストと共同で創作を行い、熟練した演技力とともに、革新的な映像や照明、サウンドを特徴とする幻想的な舞台作品を創り出している。彼女の作品はカナダ国内以外では、パリのオデオン座、ロンドンのバービカン・センター、ベルリンのゾフィエンゼーレ、ウィーンのプロユート、ストックホルムのクルトゥールヒューセット等のヨーロッパの有数の劇場で上演されている。